※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア 別冊徹底トレーニングノート四訂版総合タイプ（尚文出版） 常用漢字ダブルクリア　四訂版（尚文出版） 即戦ゼミ　入試頻出　新国語問題総演習［三訂版］（桐原書店） 新演習　現代文アチーブ２　四訂版（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、様々な文章に触れ、読解力を向上させるとともに、自分の思いや考えを的確に伝えるための「話す・聞く・書く」ことを学びます。また言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っていきます。課題に対してまずは自ら考え、積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら，自分の立場や論点を明確にして，主張を 支える適切な根拠をそろえること。 立場の異なる読み手を説得するために，批判的に読まれることを想定して，効果 的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	発見への誘い ［教材］『ミロのヴィーナス』	a：言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b：「読」文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：進んで芸術における具体と抽象の関係性や，筆者の論の進め方を捉え，学習課題に沿って見えないものへと思考を広げ芸術に対する見方を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	探究 ［教材］仮説を立てて検証する	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「書」実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し，学習の見通しをもって情報を収集・整理し，分析することによって仮説の妥当性を判断し，検証の過程を文章にまとめようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	言語と認識 ［教材］相手依存の自己規定	a：言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b：「読」文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し，学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ，他者に伝えようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
二学期	社会を捉えなおす ［教材］消費されるスポーツ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「読」人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査

※令和４年度以降入学生用

三学期		けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c ：積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り，学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら，自分の考えをまとめようとしている。			
	探究 ［教材］資料を活用して論述する	a ：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b ：「書」実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c ：粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し，学習の見通しをもって資料の価値づけを行い，自分の意見を明確にして論述しようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	近代という時間 ［教材］鏡の中の現代社会	a ：言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b ：「読」文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c ：進んで筆者の主張と，論拠となる五つの具体例の関連性を理解し，今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	自己と社会 ［教材］抗争する人間	a ：言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c ：進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って他者との関係性の構築について，自分の考えを述べようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査

※令和４年度以降入学生用

	困難な時代に	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「読」主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：粘り強く具体例や引用と筆者の主張の関係を捉えて論理展開を理解し，学習課題に沿って社会の現状と結びつけて，「知性的」であることの必要性を，具体例を挙げながら述べようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	［教材］社会の壊れるとき――知性的であるとはどういうことか				
	探究	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「書」実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：粘り強く課題の文章に検証可能な問いを立てて資料を収集し，学習の見通しをもって，論拠と主張を論文にまとめ，互いの論文を読んで意見を述べ合う活動をしようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	［教材］社会的な話題に関する文章を読み，短い論文を書く				

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　25～30　）時間

・読むこと　…　（　40～45　）時間